玉造小町子壯衰書異文考(二)

杤尾　武

玉造小町子壯衰書の傳本九本中諸本間の異同の認められる三四三例を抽出し、その中で注目すべき語の一部について考證することにした。

對象とした諸本はA九條家舊藏東京大學研究室本(底本)　B彰考館本　C曼殊院本　D松平文庫本　E京都大學藏玉造小町抄　F同玉造小町壯衰書註　G叡山文庫藏本　H寛永刊本　I群書類從本の九本である。

別表(1)は語の異同の認められる三四三例について底本をはじめに(本文を改訂して基準本文にしたものを含む)諸本の用語例を示した。異本は㋐疑わしいものは△印、同一用語は○

印をつけた。

別表(Ⅱ)は別表(Ⅰ)を記號化したもの。A～Ⅰは東(東京大學本)～群(群書類從本)に對應する。例えばこのAは東京大學本と同一用語が彰考館本、曼殊院本、叡山文庫本、群書類從本に見られることを意味する。なおⅠ・Ⅱに用いている數字は後日に公表する玉造小町子壯衰書漢字總索引の通し番號である。

横の線は諸本を四つのグループに分けたものである。東・彰グループは現存本中最も古い形態を示すもの、曼松グループは特異な本文が時に見られるが、古態を殘している。抄註グループは叡寛群グループに移行するまでの過渡的な本文を持つと同時に孤立した本文の形態を有する。また同一グループ内では最も類縁關係を持つ抄註であるが用字及び假名遣いにおいて、いくらか異同が認められる。叡寛群グループは最も新しい形態の本文を持つグループである。叡山文庫本は、寛永本の祖本と考えられる。群書類從本は寛永本を底本としているが、古本系統本を參照しながらこしらえた混成本である。叡山文庫本や寛永本もまた古い諸本を吟味吸收しているが、混成本という形態はと

らない。

一　本文の異同の起る原因

本文の異同を考えるには第一に漢字の用字法、第二にその音訓法を考察する必要がある。

今回は第一の漢字の用字法に限定して考察する。第一と第二の關係は本文の漢字とそれに附された音訓の關係である。兩者の間には時間的なずれがあり、保守性を保ちながら同時に書寫された各時代の音訓讀の影響を受けている。

底本の漢字の用字法及び音訓を考察するには古字書を拔いては考えられない。今回は觀智院本『類聚名義抄』、前田本・黒川本『色葉字類抄』、源順の『和名類聚抄』を中心に使用した。漢字音のカナ表記においては名義抄は呉音、字類抄では漢音を中心に表記しているが底本の音訓及び字體を考察する上では參考になり當然これらの書を用いた。また漢字の字體を考えるのに北川博邦編『日本名跡大字典』(角川書店)及び飯島太千雄『空海大字林』(講談社)を參考にした。

別本に抽出した三四三例中底本の本文を改めたもの三十餘例であるから約一割に當る。その中の多くが誤寫であり、一部は本文破損による脱字及び文體上の疑義による筆者の改訂がある。底本である東京大學本は初めの部分が破損消失しているので、その部分は承久元年書寫奥書本（おそらく後世の轉寫本）その他で補った。また松平文庫、叡山文庫本には句そのものの脱落もある。

底本の語句の改訂はでき得るかぎり避けるべきであるが、やむを得ず行ったもので、それについて義疑を感ぜられる向きは後日の影印本の刊行及び別表を參照されたい。

今回底本とした東京大學本の原本に對する位置づけは明確にできないが、他本が室町時代の寶德二年（一四五〇）の奥書のある彰考館本（おそらく江戸初期の轉寫本であろう）以降のものであることを考えれば鎌倉中期寫とされる底本の價値は高い。

この鎌倉中期から江戸後期（群書類從正編は文政二年（一八一九刊）にかけて書寫校定されたものであり、異本の生成過程を知る上で興味ある資料を提供してくれる。

このたびは本文の校訂上問題となる語のうちごく限られた

ものを抽出し個々に検討する。

10/132 暗墮 そらニおツ 家屋自壞 風霜暗墮（雨露偷浸）（10/132の10は索引番號 132は京大註本の作品番號）

底本、彰考館本、暗隅、曼殊院本により改む。次句「雨露偷浸」は底本より松平文庫本まで本文を缺く。隅字は名義抄「隅スミカト」（法中42）、「暗隅」の傍訓はソラニオツである。傍訓は本文の成立より後に附されることが多いので、他の本の傍訓に引かれて本文の意味とは別に獨り歩きしたものであろう。前句の家屋自壞を受けて、「壞れた家屋のくらがりに風霜が忍びこんでくる」とでも解釋できるのであろうか。

他の諸本、隅にかわり、「墮オツ」（法中40）、「隕オツ」（法中39）、「墜オツ」（法中42）を用いる。京都大學本の註に「家屋あれはてて、風雨霜露をもふせきかたき躰なり」とする。（以下京註と略稱）

「暗隅」は「隅に暗し」と訓む以外仕方がないが、意味がしっくりしない。他本を援用せざるをえない。隅は誤字であるのか、各字の草書體を比較してみよう。

(イ)「隅」　隅（王勃詩序）　隅（光明皇后杜家立成）　隅（金澤藏葉二）（日本名跡大字典、以下名跡と略す）

(ロ)「墮」　墮（聖德太子法華義疏（名跡））

(ハ)「隕」　隕（空海聾瞽指歸（名跡））

(ニ)「墜」　墜（聖德太子法華義疏（名跡））

右のそれぞれの關係は、(イ)(ロ)(ニ)が字形の類似、(イ)〜(ニ)は同訓異字である。隅は墮字を誤認したものであろう。

しからば「暗墮」として解釋するとどうなるか、諸本の訓み「そらにおつ」にそって考えると、「風霜が廢屋にひそかにしのびこむ」となるのであろうか、隕、墜をあてても同じような解になるであろう。

104 14 蔦茈　なまくわね　笠入何物　田黑蔦茈

「慈姑」と書くオモダカ科オモダカ屬のくわいは、カヤツリグサ科ハリイ屬のくろくわいと種を異にする。「澤瀉」は和名抄「澤瀉

本草云澤瀉一名芒芋 和名奈 烏芋 蘇敬本草注云烏芋和名久(ヒサ)

『本草和名』「烏芋一名籍姑、一名水萍、鳧茨仁諸音、上府、下在一名槎牙、錫加反一名茨菰澤泻之類也 已出蘇敬注」 烏芋出崔禹錄 一名水芋出兼名苑 一名玉銀 要訣出雜 和名於毛多加、一名久呂久和爲(下ダ)(『日本古典全集』)とある。和名抄は『本草和名』を見ていると思える。両書を勘案すると「澤瀉」と「烏芋」は同一のものではないが、「おもだか」と同屬である。「おもだか」は「なまね」、「烏芋」は「くわゐ」という。ただし、本草和名は「烏芋」の和名として、「おもたか」の別名を「くろくわゐ」とする。「烏芋」は「烏芋」のことであろう。名義抄は「烏芋クワヰ」(僧上36)「鳧茨ナマヰ」(僧上39)とする。字類抄「烏芋クワヰ澤瀉之類」(黒中72)「澤瀉オモタカ又ナマクワヰ」(黒中63)とし、「澤瀉」と「烏芋」は同類とし、「おもたか」「なまね」「くわゐ」と稱していたらしい。中世の古字書類では、『撮壤集』「田烏子 烏芋和名 烏此同」(72)、『温故知新書』「蔦茨同」(72)、『塵芥』「蔦茨同」(92)と「烏茨」は「くわゐ」の意として定着する。

中國の『爾雅釋草』「芍、鳧茨生下田苗似龍須而細根如指頭黑色可食。」(周祖謨『爾雅校箋』)「蕍蔎」(同上)では、「芍」すなわち「鳧茨」はカヤツリクサ科の「くろくわい」を指す。「蕍蔎」は「澤瀉」である。『本草綱目』では「澤瀉本經上品 釋名 水瀉本經 鵠瀉 錄別 蕍俞芒芋俞禹孫(珍曰)去水曰瀉、如澤水之瀉也。禹能治水故」

曰、禹孫、餘未詳。〔集解〕〔別錄曰〕澤瀉生汝南池澤。五月采葉、八月采根、九月采實、陰乾。」（草部巻十九水草類）、「烏芋〔別錄中品〕〔釋名〕鳧茈音毗、鳧茨音資、葶薺衍義黑三稜博濟方、芍、韻地果鄭樵通志（時珍曰烏芋、其根如芋、而色烏也。鳧喜食之。故爾雅名鳧茈、後遂訛爲鳧茨、又訛爲葶薺、蓋切韻鳧葶同一字母、音相近也。三稜地果、皆形似也。〔瑞曰〕小者名鳧茈、大者名地果。〔集解〕〔頌曰〕烏芋、今鳧茨也、苗似龍鬚而細、色正青、根如指頭大、黑色、皮厚有毛。又有一種、皮薄無毛者、亦同。田中人並食之。」（果部三十三蔬類）。「慈姑〔釋名〕藉姑〔別錄〕水萍〔別錄〕河鳧茈〔圖經〕白地果〔同上〕苗名翦刀草〔圖經〕箭搭草〔救荒〕槎丫草〔蘇恭〕燕尾草〔時珍〕慈姑一根、歲生十二子、如慈姑之乳、諸子、故以名之。作茨菰者、非矣。河鳧茈、白地果、所以別烏芋之鳧茈、地果也。翦刀、箭搭、槎丫、燕尾、並象葉形也。〔集解〕〔弘景曰〕藉姑、生水田中、葉有椏、狀如澤瀉、其根黃似芋子、而小者、煮之可啖。〔恭曰〕慈姑、生水中、葉似鏵箭之簇、澤瀉之類也」（同上）と解く。澤瀉（おもだか）と慈姑（くわい）は同科であるが、烏芋（くろくわい）は全く別種であり、龍鬚（いぐさの一種）に似たものである。

近世の小野蘭山『本草綱目啓蒙』は本草綱目を廣益し、日本の方言にまで及びその分類方法が定着する。曰く「澤瀉ナマ牛知名サジヲモダカ京、ナ、トウグサ俗、ナ、ト正、新校〔一名〕水晉菜救荒本草……」（巻十五草

之八)、「烏芋 クログワヰ、クワヰヅル、ギワヰヅル 播州、イゴ、スルリン 共同上、コメカミ 土州、ゴヤ 阿州、ズルリ 備前、ギワ 防州、シリサシ 越前、アブラスゲ 仙臺、〔一名〕土栗 事物異名……」、「慈姑 クワヰ 智名鈔、クワエ、シログワヰ、ツラワレ 越前、〔一名〕剪搭草 救荒本草……」と。その説明は和語で解りやすくなされている。

さて、玉造小町子壯衰書の蔦芛蔦芛鳬芛と傍訓のナマクワヰ(ヰ)、ハスノミの説明が求められる。蔦と蔦は烏の増文であり、『本草和名』に見える。烏と鳬は『本草綱目』の「烏芋」で述べられているように根の色及び鳬(野がも)が喜んで食すとするによる。芛は芛の省文であり珍しくない。ナマクワヰの訓はナマヰの轉じたものでクワヰのつもりらしい。ハスノミは蓮の實のことで名義抄(法華137)に見える。ただし、『爾雅』の「芍」は「鳬芛」の意としていて、「芍」を「芍薬ハスノミ」(僧上6)とする訓が正しければこれも認められる。漢字の用法及び訓法はいずれも前引の古字書に例があることになる。また、同一の漢字表記で實際の種の意味が違っていること自體珍しくない。いま必要なことは壯衰書の表記法が一般か特殊かを解明することで目的をはたしたことになる。

105/155 云云 ウンウン　仰願諸佛　必導孤身云云

底本・彰考館本辭書類從本を除く諸本なし。辭書類從は底本等古本によったものであろう。名義抄「云云ツヽヤク」(法中68)「云云サヽヤク」(法下48)、字類抄「云云ウンウンツヽヤク」(黒中53/32)。「つつやく」とは「三世の諸佛に此ひとりある身をみちひきて、佛になしたまへ」(京註)とささやくことをいう。底本「云〻」、彰考館本「云云」、辭書類從本「云云」と表記している。

袁志の『父母恩重經講經文』補校(敦煌語言文學論文集)(五)に興味ある論が見える。曰く、「前來父母有十種恩德、皆父母之養育、是二親之劬勞(注)。劬勞下原卷有"厶"字樣、即"云云"二字。"厶"即"云"字手書之小變"と。敦煌變文では云云の省略標記として"厶"が使われているとする。

日本においても「云云(藤原公任北山抄)」「云云(關戸本古今集)」(名跡)等「云」の字體が紹介されている。底本の「云云」は云云の更なる略體形と考えて支障なかろう。また、「ささやく」語として必要なことばであり、省略してはならないであろう。

720/222 盈盞 エイサン　臘臘盈盞滿　髓髓盃盤滋

盈盞と盃盤は對語でなければならない。京話「盈はうつわものなり盞のたくひなり」とするが、名義抄「盈盈盈通今正、以政反、ミツオホシ」といい、『大漢和辭典』にも「うつわものの意なし。これを口語に譯せば、『盞』にあふれ」となる。これでは「盃盤」の對語にならない。彰考館本、松平文庫本の「盃」は「ほとぎ」、「盞盞」であればほとぎとさかつきの意で對語としては可能である。字形の類似の面から見れば、「盃ホト」(僧15)、「盌マリ、谷云」(僧15)、も考えられるが、四聲、音ともに一致しないが、「盞」(漢。養アウ)が「盈」(庚ヤウ右呉音、左漢音以下同)と形、音ともに類似しており、「盞」を誤って「盈」にした可能性がある。

570/17 衢眼 クカン　鼠鼠衢眼　俳徊路頭

底本、彰曼、松群(異本)がこの語を用い、他の諸本は「衢間」とする。「衢」は名義抄(佛上52)、字類抄(前上52)ともに「チマタ」の意。ここで注目すべきは「眼」である。古字書は「マナコ」である。着眼點といった比喩的用

法を適用するならば「ちまたのかなめ」すなわち街路の中心點、ちなかの意になる。しかし、このような用例を他に發見しないかぎり苦しい解釋である。他の諸本の「衢間」であれば「衢間はみちのちまたなり」(京註)と容易に納得できる。「眼」という表記法を遊戯的用法とみるか、「間」と「眼」が日本漢字音(四聲は考慮しない)では類似しているため、間の宛字とする解釋にとどまらざるをえない。このような宛字は敦煌變文等俗文學類には珍しくなく、日本でも單記文學に例が求められるかもしれない。

1723/165 爾云 しかいふ 韻造古調 詩賦新章爾云 一百廿四韻

底本抄註叡寛群(異本)が「爾云」とし、他の諸本が「云爾」とする。「文選十五例中ことごとく「云爾」とする。『大漢和辭典』の「云爾」に「上の文を收める辭。〈しかいふ〉と讀むと說明する。名義抄に「云尒(爾)イフコトシカリシカイフ」といい、「云爾」と表記するのが正體であろう。壯衰書は(自)樂天の秦中吟の詩を學んだというが、その自詩中には五例ばかりこの語が使われているが、(云爾・爾云)「和夢遊春詩」一百韻并序」にただ

一つ「爾云」と表記した例がみえる。　南宋紹興本・全唐詩那波道圓本、紹興本を底本とした『白居易集』(顧學頡校點 中華書局一九七九・一〇)等が該當する。「云爾」とする本文は明馬元調校本を和刻した『白氏長慶集』(明暦三)、同じく馬元調本を底本とした『白居易集箋校』(朱金城箋校 上海古籍出版社 一九八八・十二)及び清王立名の『白香山詩集』を底本とした『白樂天詩集』(佐久節譯解 續國譯漢文大成)等がこれに當る。馬元調本・汪立名本は善本ではないとされており、ただの一例とはいえ古本の系統に壮衰書の底本と同じ用例がみられることは注目してよい。　誰にでも解されることばで書いたという白詩の序に、あるいは當時の俗語的用法が混入したのかもしれない。

次に序を引用する。

和夢遊春詩一百韻并序

微之既到江陵、又以夢遊春詩七十韻寄予。且題其序曰、斯言也、不可使不知吾者知。知吾者亦不可使不知。樂天知吾也。吾不敢不使吾子知。予辱斯言、三復其旨、大抵悔既往而悟將來也。然予以爲苟不悔不寤則已、若悔於此、則宜悟於彼也。反於彼而悟於妄則宜歸於真也。況與足下、外服儒風、內宗梵行者、有日矣。而今

而後、非覺路之返也、非空門之歸也、將安反乎、將安歸乎。今所和者其卒章指歸於此。夫感不甚則悔不熟、感不至則悟不深。故廣足下七十韻爲一百韻、重爲足下陳夢遊之中所以甚感者、叙婚仕之際所以至感者、欲使曲盡其妄、周知其非、然後返乎眞、歸乎實。亦猶法華經序大宅、偈化城、維摩經入淫舍、過酒肆之義也。微之微之、予斯文也、尤不可使不知吾者知、幸藏之爾云。（巻十四 律詩）

壯衰書の作者は秦中吟に啓發されながらこの序に暗示を受けて文をものしたのではなかろうか。一百韻といった語もそうであるが、「爾云」という用語はその謎を解いてくれるのではなかろうか。

1218 289 秋雪　あきのゆき

尊相不覺知　眼同四大衆　頭等五須彌
如聚秋雪彩　似比曉月輝

底本を除く諸本は秋雪とす。秋雪の詩は劉禹錫と白居易の唱和詩が有名である。『日本國見在書目錄』『物集高家集』には『劉白唱和集』が著錄されるので、これで有名になったものであろう。

『佩文韻府』の秋雪の項には岑参の「北庭作」、李商隱の「九日於東逢雪、雍陶の「蔚州晏内遇新雪」、鄭谷の「送司封從叔員外徼赴華州」、裴尚書均辟」と白居易の作が引かれている。これに對して平安朝の作として『菅家文草』所收の「水鷗詩」の一句、『本朝文粹』所收の紀長谷雄「九日侍宴觀賜群臣菊花」詩序(巻十)、『和漢朗詠集』(秋九日同)の一句にも用例がみられる。

京註では秋雲に註して「頭の螺髮の事をいへるにや雲髮とは髮をは雲にたとへたる事多し」と。螺髮とは佛の頭髮のようにちぢれて螺狀をしたものをいう。「雲髮」とは雲のようにゆたかな髮をいうが、「雪髮」はふつう白髮をいう。

「雪髮」は冬の雪の印象から想起するものばかりではない。「秋雪」からかもし出される情感は冬雪や春雪のそれとは自ら異るのである。劉禹錫と白居易の秋雪の唱和詩は壯衰書の「秋雪」を解明するに恰好の素材といえよう。

終南秋雪　劉禹錫(全唐詩巻三五七)　(寒韻)

南嶺見秋雪
千門生早寒。
間時駐馬望
高處卷簾看。
霧散瓊枝出
日斜鉛粉殘。
偏宜曲江上
倒影入清瀾。

南嶺 秋雪を見る
千門 早寒を生ず。
間時 馬を駐めて望む
高き處 簾を卷いて看る。
霧散じ瓊枝出で
日斜き鉛粉殘る。
偏へに宜し曲江の上
倒影 清瀾に入る。

終南山に秋雪を見る
宮門にはいつになく早い寒氣
しばし馬車を駐め望見する
山の高きは簾を卷いて看る
霧晴れ瓊なす枝現われ
日斜き鉛粉ひく雪影浮ぶ
いともよし曲江池のほとり
倒影は清めるさざ波にゆれる

白居易はこの詩に唱和して次の詩を作る。

和劉郎中望終南山秋雪

遍覽古今集
都無秋雪詩。
陽春先唱後
陰嶺未消時。

遍く古今の集を覽るに
都て秋雪の詩無し。
陽春先づ唱へて後
陰嶺未だ消えざる時。

白居易（白居易集巻二六）（支韻）

あまねく古今の集を覽るに
すべて秋雪の詩なし。
陽春の曲を先づ唱えてのち
消え殘った北嶺の雪を見る。

草訝霜凝重　草をば霜の凝って重きかと訝り　草に置く雪は霜かといぶかり
松疑鶴散遲　松をば鶴の散ずること遲きかと疑ふ。松の雪は鶴の群かと疑う。
清光莫獨占　清光獨り占むる莫く　山は清らなる光を獨り占めするでもなく
亦對*白雲司。　亦對す白雲の司。　白雲の司である私にも見せてくれる。

*白雲司は官名、刑部をいう。裁判典獄を司る。白居易は當時白雲司であった。

この二つの詩から受ける印象は「秋雪」が秋の紅葉に見るはなやぎを感じさせるのである。白居易に傾倒している壯衰書の作者はこの秋雪を看過するはずはなかったと考えられる。

菅原道眞は「水鷗」と題する律詩を作っている。その第三聯は

飛疑秋雪落　飛びて疑ふ秋雪の落つるかと
集談浪花匂　集りて談ふ浪花の匂ふことを

という。これは白居易詩の第三聯を念頭に置いて作詩されたのではなかろうか。平安時代第一の白居易心酔者道眞の作にふさわしい。道眞の門人の紀長谷雄の詩序は

先三遲兮吹其花　三遲に先って其の花を吹けば
如曉星之轉河漢　曉の星の河漢に轉ずるが如し。
引十分兮蕩其彩　十分を引いて其の色を蕩かせば

疑秋雪之廻洛川　秋の雪の洛川を廻るかと疑ふ

と、これは白菊を洛川を廻る秋雪かと疑い、他方は白鷗の飛ぶ姿を秋雪にたとえたものである。洛川の廻雪は曹植の「洛神賦」に「飄飄兮若流風之廻雪」（文選）で早く知られたもの。ただ白居易に「奉酬淮南牛相公思黯見寄二十四韻」という詩（白居易集巻三十三）に「鷗棲心戀水、鵬擧翅摩天」「我正思楊府、君應望洛川」「動心無白雪、曲難答碧雲篇」等の句が見えるので、「水鷗詩」との影響關係も認められよう。「秋雪」の語はこれら白詩及びその影響を受けた詩を背景にしているように思える。

ここで不可解なのは「眼同……」の句は「似比……」に、「頭等……」の句は「如聚……」と對應すべきであるのに順序がちぐはぐになっていることである。あるいは「頭等……」「眼同……」の順になっていたのかもしれない。

次に諸本の「秋雲」をどう解釋するかである。「雪」と「雲」の草書體は類似していて誤り易いという説明も可能である。しかし、雪を雲に意識的に改めたと考えたい。白居易が詩序にいうように「秋雪」の語は珍しい。「秋雲」は常套的な語であり、本文の書寫にあた

り改めたのではなかろうか。壯衰書の作者は「秋雪」に話題性を求め、後の書寫者はそれのおもしろさを理解せず、常套語に改作したのである。

	東	彰	曼	松	京抄	京註	叡	寛	群	
10/132	暗隅	暗隅	暗隨	暗隕	暗隧	暗隆	暗隨	暗隨	暗墮	風霜暗墮
104/14	蔦蕪	蔦蕪	蔦茈	蔦茈	蔦茈	梟茈	蔦茈	蔦茈	蔦茈	田野蔦茈
105/155	之	云						云	云	必導狐梟云
120/222	盈盞	盆盞	盈盞	盆盞	盈盞	盈盞	盈盞	盈盞	傜盞	罐腿盈盞滿
570/17	衢眼	衢眼	衢眼	衢眼	衢間	衢間	衢間	衢間	衢間	御衢衢眼
1123/165	尒云	云尒	云尒	云尒	尒云	尒云	尒云	尒云	云尒	詩賦新韻尒云
1218/289	秋雪	秋雲	秋雲	秋雲	秋雲	秋雲	秋雲	秋雲	秋雲	如聚秋雪粉

注

1 『成城國文學論集』十八輯（昭和六十二年二月）、『成城文藝』第一一九号（昭和六十二年五月）に翻字した。

2 蘇敬本草注　齊の陶弘景の本草注に手を加えた書。『新修本草』『唐本草』と稱され、平安時代にはこの書が本草書の基本となった（『延喜式』）。

3 『本草和名』　醍醐天皇の侍醫であった深根輔仁の著。延喜十八年（九一八）頃に成ったといわれる。

4 仁諝　『日本國見在書目錄』に醫方家に著錄する『新修本草音義一仁揖撰』の仁揖であろう。寛政八年（一七九六）刊本の提要で、多紀元簡は「仁諝二字、或謂諝乃謂之訛輔仁自謂也。今查字書諝與諝同藥名下或云出仁諝音義或云某字仁諝音義作某蓋其人仁姓諝名……」と考證する。仁は輔仁の仁で諝は謂の訛字であって、輔仁謂の意であるという説を紹介するが、これは誤りであろうとする。諝字は諝（ショはかる）の異體字であるから、「仁諝」と訓めないこともないが、見在書目錄の仁揖と仁諝は同一人物と考えるべきであろう。諝と揖の草體は近似していて誤りやすい。

5 陶景注　齊の陶弘景の『本草經集注七卷』本草和名の巻初に『本草

6 雜要訣『兼名苑』『蘇敬注』等とともに『陶弘景注』として引用する。小嶋尚眞、森立之ら重輯、岡西爲人訂補本が南大阪印刷センター(昭和四八・三)によって發行されている。

7 雀禹　見在書目錄醫方家に『食經四雀禹錫撰』として著錄。

8 兼名苑　見在書目錄卅雜家に『兼名苑十五今案卅卷』として著錄。『和名鈔』にも引用される。

9 雜要訣『本草雜要訣』　注5參照。

10 撮壤集『温故知新書』とともに中田祝夫根上剛士『中世古辞書四種研究並びに總合索引』(昭和四十六・七風間書房)所收。

11 塵芥　清原宣賢自筆の伊路波分類體辭書。(京都大學文學部國語學國文學研究室編臨川書店)

12 爾雅校箋　天祿琳琅叢書所收『宋監本爾雅郭注』を影印し、周祖謨が校注を加えたもの。(一九八四年・十二江蘇教育出版社)

13 本草綱目　明・李時珍撰五二卷圖二卷　明萬曆三一序刊本等。寛文十二年刊本等和刻本及び國譯本あり。

小野蘭山『本草綱目啓蒙』四八卷(享和三年(一八〇三)～文化三年(一八〇六)刊)。影印本として杉本つとむ編著『小野蘭山本草綱目啓蒙本文・研究索引』(昭和四九年・一

14

早稲田大學出版部）がある。

敦煌語言文學論文集（一九八八・十 浙江古籍出版社）

讀例	東彰	曼松	抄註	叡寛群
哀 9 ア(イ)カナシキカナ				△
哀哉 アハレナルカナ カナシイカナ	○		○	○
愛 13 子 コヲアイスルコトハ	○	○	○	○
受子 ーーハ	○	○	○	○
愛樂 アイラクハ	愛			?
受樂	○	○	○	○
榮樂 エイラクハ			榮榮	
暗墮 12 (ア)ソラニオツ				○
暗隅 そらニおツ ーニをツ	○			○
暗墜 ソラニをチ		○	○	
以 イーテ	○		○	○
而	○	○	○	○
而以 ーテ		○	○	○
圍繞 (ヤ)ヤネウセリ	圍・	囲		
圍遶 イネウス	囲	囲		
幃 12 ヤ かたひらあり とはりあり	○	○		
惟 かたひらナリ	○	○		
綾幃				
爲讃 (イ)ほめンガためニ	○	○		
爲讃佛乘 サンヲ ニ	○	○		
遺髭此 ヤレヲ のこルしらか	△	○	○	○
遺髭賓 のこルビムヲ しらか	○	○	○	○
處闇 17 とし ニをル とくき ヤ	○	○		
處闇 としみニをル	○	○		
處閨 ねやニース			○	
處圍 ときしニをり			○	○
	66	66	66	66

讀例	東彰	曼松	抄註	叡寛群
躋 12 ヤ イ タリ				○
躋躋	○		○	○
悠悠 22 イイタリ イウータリ シイータリ ユウ(ーータリ)	○	○	○	○
懿懿	○	○	○	○
一圓 (ア)イチエンノ	○			○
一國		○	○	○
一囊 ひとつノつつみヲ	○	○	○	○
一囊 ーノつつみヲ	○	○	○	○
引攝 (イ)インセフ	○	○		○
引接 ーンセウ シャウ		―	○	○
雨露 (ヤ)ウロ			○	○
蔦此 (ヤ)なまくわい なまくわいハ	○	○		○
蔦此爲 なまくはい はすノみ くはゐ		○	○	○
云 一云 (ヤ)ウンヤウン	○			○
云 (云々の略體)	○			○
盈 (ヤ)エイサンニ エウサンニ エイサンニ アフサンニ	盈	○		○
盈		益		○
儘				○
儘				○
亦 (ヤ)また	○	○		○
而	○	―		○
亦 また	○	○		○
偏 ひとへニ	○	○		○
易 そばだテやすシ そばだチーシ	○	○	○	○
易	○	○	○	○
悅豫 (ヤ)エツヨノ エツヨノ	○	○		○
悅預 エツレツノ		○		○
	69	69	71	71

讀例	東彰	曼松	抄註	叡寛群
悠悠				○
懿懿				○
一圓				○
一國				○
一囊				○
一囊				○
引攝				○
引接				○
雨露				○
蔦此				○
蔦此爲				○
云				○
云				○
盈				○
盈				○
儘				○
儘				○
亦				○
而				○
亦				○
偏				○
易				○
易				○
悅豫				○
悅預				○
	76	76	77	77

讀例	東彰	曼松	抄註	叡寛群
躋躋				○
躋躋				○
悠悠				○
懿懿				○
一圓				○
一國				○
一囊				○
一囊				○
引攝				○
引接				○
雨露				○
蔦此				○
蔦此爲				○
云				○
云				○
盈				○
盈				○
儘				○
儘				○
亦				○
而				○
亦				○
偏				○
易				○
易				○
悅豫				○
悅預				○
	99	104	104	104

讀例	東彰	曼松	抄註	叡寛群
躋躋				○
躋躋				○
悠悠				○
懿懿				○
一圓				○
一國				○
一囊				○
一囊				○
引攝				○
引接				○
雨露				○
蔦此				○
蔦此爲				○
云				○
云				○
盈				○
盈				○
儘				○
儘				○
亦				○
而				○
亦				○
偏				○
易				○
易				○
悅豫				○
悅預				○
	105	105	120	120

讀例	東彰	曼松	抄註	叡寛群
躋躋				○
躋躋				○
悠悠				○
懿懿				○
一圓				○
一國				○
一囊				○
一囊				○
引攝				○
引接				○
雨露				○
蔦此				○
蔦此爲				○
云				○
云				○
盈				○
盈				○
儘				○
儘				○
亦				○
而				○
亦				○
偏				○
易				○
易				○
悅豫				○
悅預				○
	120	120	128	128

讀例	東彰	曼松	抄註	叡寛群
躋躋				○
躋躋				○
悠悠				○
懿懿				○
一圓				○
一國				○
一囊				○
一囊				○
引攝				○
引接				○
雨露				○
蔦此				○
蔦此爲				○
云				○
云				○
盈				○
盈				○
儘				○
儘				○
亦				○
而				○
亦				○
偏				○
易				○
易				○
悅豫				○
悅預				○
	128	128	129	129

讀例	東彰	曼松	抄註	叡寛群
躋躋				○
躋躋				○
悠悠				○
懿懿				○
一圓				○
一國				○
一囊				○
一囊				○
引攝				○
引接				○
雨露				○
蔦此				○
蔦此爲				○
云				○
云				○
盈				○
盈				○
儘				○
儘				○
亦				○
而				○
亦				○
偏				○
易				○
易				○
悅豫				○
悅預				○
	134	134		

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
焉									
嬌	○	○	○						
莚表(王)むしろノうへニ		○	○						
席表 むしろノうへニ				○					
瑗池 ヱンチニ ヱンチニ		○	㊀						
瓊池 ケイーニ	瓊	○	瓊						
燕紫 エンシヲ ヱンシヲ									
鸞鸞 ランシヲ	△	鸞	●	●					
王宮(オウ)ワウキウノ ハウキウノ		○							
玉宮 ハウキウノ	○								
往歸 ワウキヲ		往							
羅歸			羅						
鴨	○		○	○					
鸚鵡 アウムハ		鸚	●	●					
鸚鵡 ヨウムハ			○	○					
音聲(オン)オンシヤウ		○	○	○					
音驚			驚						
恩德 オントクノ		恩							
嬢德 シヤウトクヲ			○	○					
謝德 ーヲースル ーヲースル			○						
加笞(ヵ)しもとヲくはフ くわフ		○	○	○					
加笞 しもとヲーフ		○	○	○					
可供 キヨウスベキ クニスベキ		○	○	○					
可借 ースー		○	○	○					
河東 カトウノ		○	○	○					
河東之 ーノ									
花眼 はなのまなこヲモ	○	○	○	○					
華眼 ーヲモ									
花座 クワサハヲ		○	○	○					
華座 ーヲ		○	○	○					
花總 クワサイノ はなノあぎと		○	○	○					
花腮 クワサイノ アキト									
華總 ーサイノ			○	○					
花色 はなノいろハ		○	○	○					
華色 ーノーハ		○	○	○					
臥疾 やまひニふレテハ やまいニふレテハ		○	○	○					
臥病 ーニフ		○	○	○					
華岳 クワガクノ		芳	○	○					
花岳 クワガクノ		○	○	○					
華帳 クワチヤウノ		○	○	○					
花帳 ーノ		○	○	○					
畫眉 まゆヲかイテ まゆニ忘かヒテ		畫							
書眉 まゆヲかヒテ		○							
畫眉 ーヲーテ			畫						
歌舞 カブ		○	歌	歌					
歌無									
禍葉 クワエフ クワヨウ		○	○	○					
福葉 ーエフ		○	○	○					
禍業									
裹容 つつみニハいレタル		裹	●	●					
囊容 ーニールハ			●	●					
鴛膝		鴛	●	●					

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
焉									
嬌	137	137							
莚表(王)むしろノうへニ	138	138							
席表 むしろノうへニ	138								
瑗池 ヱンチニ ヱンチニ	141	141							
瓊池 ケイーニ	141								
燕紫 エンシヲ ヱンシヲ	146	146							
鸞鸞 ランシヲ	146								
王宮(オウ)ワウキウノ ハウキウノ	169	169							
玉宮 ハウキウノ	169								
往歸 ワウキヲ	175	175							
羅歸	175								
鴨	186								
鸚鵡 アウムハ	193	193							
鸚鵡 ヨウムハ	193								
音聲(オン)オンシヤウ	198	198							
音驚	198								
恩德 オントクノ	202	202							
嬢德 シヤウトクヲ	202	202							
謝德 ーヲースル ーヲースル	202	202							
加笞(ヵ)しもとヲくはフ くわフ	207	207							
加笞 しもとヲーフ	207								
可供 キヨウスベキ クニスベキ	208	208							
可借 ースー	208								
河東 カトウノ	226	226							
河東之 ーノ	226								
花眼 はなのまなこヲモ	229	229							
華眼 ーヲモ	229								
花座 クワサハヲ	230	230							
華座 ーヲ	230								
花總 クワサイノ はなノあぎと	231	231							
花腮 クワサイノ アキト	231								
華總 ーサイノ	231								
花色 はなノいろハ	232	232							
華色 ーノーハ	232								
臥疾 やまひニふレテハ やまいニふレテハ	232	232							
臥病 ーニフ	232								
華岳 クワガクノ	234	234							
花岳 クワガクノ	234								
華帳 クワチヤウノ	242	242							
花帳 ーノ	242								
畫眉 まゆヲかイテ まゆニ忘かヒテ	244	244							
書眉 まゆヲかヒテ	244								
畫眉 ーヲーテ	244								
歌舞 カブ	247	247							
歌無	247								
禍葉 クワエフ クワヨウ	269	269							
福葉 ーエフ	269								
禍業	269								
裹容 つつみニハいレタル	270	270							
囊容 ーニールハ	270								
鴛膝	275								

	刈夷(ガイ)かりたひらゲ	海涯 カイギニ ーガイニ ーノきしニ	海崎 ーキヲ	剴掃(ガイ)きりはらヒ	剴拂 ガリーヒ	鮮鰯 キクエツノ いいまあさち	鮮鰯 イフケツノ	鮮鰯 いいまあさち セウケツノ サウクエツ セウクエツ	鱈非 なますハあらザバ	繪非 なますハーレハ	喚(カン) さへづクテ よばツテ	更戻 ーニーテ	喉 なイテ	喚 さへつり なキ	喉 なキ	裸(カン)きいわいヲ	裨 さいひヲ	褆 さいわいヲ さひわいヲ さいはいヲ	禧 さひはいヲ さいわいヲ	漢土 カンシュ	漢王 カンワウ	歡喜 クワンキノ	觀喜 クワンキ	觀 クワンズルコト	歡 ーテ
東	刈	○	○	○	○	○			鱈		囂			嗄●	㊀	○	○			○	○		觀		
彰	苅	○	○	○	○		○		鱈		囂	○	㊀		濃					○	○		觀		
憂	刈	○	○	○	○	○	○		鱈			○	喉		濃			○		○	○	○	歡		
松	苅	○	○	○	○	○			●	繪			○		○	○				○	○		觀		
抄	○	○	○	○	○	○	㊀	○	鱈			㊀	嗾●	嗾●	○		○	○		○	○		歡	○	
註	○	○	○	○	○	○			○											○	○		○		
叢	刈●	○	○	○	○	○			○								○			○	○		○		
寛	刈●	○	㊀	○	○	○	㊀	○	○	311	㊀	338	338	338	339	349′	349′	349′	349′	349′	351	351	372	372	374
群	276	276	292	292	297	297	304	304	304	311	311	338	338	338	339	349′	349′	349′	349′	349′	351	351	372	372	374

	希(ヲ)まれナリ	稀 まれナレナリ	既荒 すでニあレテ	共荒 ーニあレテ	旦期 ゴセム キあラム あした	旦	棄擬 たまヲすテタリ たまヲすテタリ たまヲすツ	奇擬 たまヲすテタリ	棄鉏 すきヲすテタリ くわヲすテ	棄鋤 すきヲーテ	奇鋤 すきヲすテ	貧戲 ーケール	貴戲 たふとカリシトキニハ たけブレ(ル)	歸依 クキ レテ ガすらフ ーシ	歸	魏南 グキナム ギナン	南	牛乳(キ)ギウニウノ キウジウノ	牛乳 ゴジウノ	汲引 キフイン(ウ)	泣露 キフロ キウー	泣露	祛(キヨ)はらヒテ はらイ	拂 はらヒテ	叫(キヨウ)さけムデ	唯叫 ーテ	仰願 あおギねがハクハ あさヒキークハ
東	○	○	既			○	○	○	○				○		歸		魏●	○			○		祛		叫●		○
彰	○	○	既			○	○	○	○				○		歸		○	○			○		拔		●		○
憂	○	○	既	○	○	○	○	○	○			○	○		皈●		魏	○			○			○	叫●		○
松	○	○	既			○	○	○	○				○		帰●		○	○			○			○	叫●		○
抄	○	○	既			○	○	○	○	○			○		皈			○	○		○			○	叫●		○
註	○	○	既			○	○	○	○	○			○		歸●		○	○	○		○			○	叫●		○
叢	○	○	既			○	○	○	○	○			○		㊀		魏	○			○		○	○	叫		○
寛	319	319	402	402	408	408	410	410	411	411	411	416	416	439	439	446	446	463	463	467	468	468	484	484	491	491	493
群	319	319	402	402	408	408	410	410	411	411	411	416	416	439	439	446	446	463	463	467	468	468	484	484	491	491	493

	東	彭	曼	松	抄	註	叡	寛	群
仰應願 ーン ー	○								
教	教・	・	―		教教		教教・		
憍謾 ケウマン		謾	慢						
憍慢 ケウマン きこしいきとをり			○	○	憍慢		・・慢		
王竹田(ヨウ)ギヨクテキ	○	○	○	○	○		○	○	
王 (ヤウ) ー テ					○		△	○	
玉造小町女 たまつくりこまちゲヨ	―	―	○	―	―		―	―	
今月光(キン)いまハヤル	○	○		○	○		○	○	
今 ー ノ			○		○		○	○	
金湲 コムヱム ニハ	○	○			○		○	○	
金溪 ー ケイ			○	○			○	○	
金箏 キムシヤウノ ー シヤウノこと	○	○			○		○	○	
箏 ー サウノ			○		○		○	○	
金椀 キムワンニ					椀		○	○	
金椀 キンワンニ					椀		○	○	
金垸 ー ワン ニ	○	○					○	○	
臘腱(ヲ) クケンハ		○					○	○	
臘腱 クワクケン							○	○	
腱臘 ケンクハ ケンヤク		○	臘	臘					
衢眼 クカンニ クカント まつらカニノ		○	○	○					
衢間 クカンニ クツカンニ							○	○	
空王(ヲウ) クウワウノ		○	○	○			○	○	
宮王 ー ー ノ			○						
空主 クウシユノ							○	○	
薫馥(フク) クンフクノ		○					○	○	?
薫復 ー ー ノ				○				?	○
溪北(ケイ) ケイホクノ	○	○	○	○	○		○	○	○
	597	576	576	571	571	571	570	570	569'

	東	彭	曼	松	抄	註	叡	寛	群
腱臘(ヲ) クケンハ							○	○	
臘腱 クワクケン								○	
臘腱 ケンクハ ケンヤク									○
眼 クカンニ クカント まつらカニノ									
間 クカンニ クツカンニ									
空王(ヲウ) クウワウノ									
宮王 ー ー ノ									
空主 クウシユノ									
薫馥(フク) クンフクノ									
薫復 ー ー ノ									
溪北(ケイ) ケイホクノ									
	569'	569'	569'	551	551	551	547	547	541

	東	彭	曼	松	抄	註	叡	寛	群
溪北 ケイ ノ									
瓊琴 ケイシツノ	○	○							
琴琴必 ー ー ノ			○						
月脯(ケン) グワツイウニ グワツイフニ ー ノ まとニ		脯・	○	脯	脯	脯			
月脯				比					
脯					脯	脯			
薇薇 わらひ		薇薇			薇薇	薇薇・			
薇薇 ビケツ ー わらひ			薇						
玄疇(ケン) クヱンニ ケンナウニ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲疇 ー ケウニハ なゐてあせ	○						○		
蚖蛇 クワンシヤ をろちくちなは	○	○	○				○	○	○
蚖蛇 ケンチヤ カラスクチナハ				○	○	○			
懸 かケ	○	△	○						
掛 ー ケ				○					
懸胸 むねニかかり むねニかケ	○	○	○		○	○	○	○	○
係胸 ー ニ ー ケ				○					
懸壁 かべニかかり	○	○	○		○	○	○	○	○
係壁 ー ニ ー リ				○					
五孫(ヨ) ゴソンノ	○	○	○		○	○	○	○	○
五殊									
孤庇 コヒニ ひのきし		孤	孤						
孫庇 まこひさしニ ー ひさしニ			孫						
虎魄 クハクヲ コハクヲ		虎・							
虎珀 コハクヲ					琥・				
琥珀 コハクヲ						珀			
故墳 コフン ノ	○	○	○						
技墳 キフン ノ									
故闐 コキニハ としきみ	○								
	597	607	607	623	623	623	630	630	632

	東	彭	曼	松	抄	註	叡	寛	群
玄疇(ケン) クヱンニ ケンナウニ									
雲疇 ー ケウニハ なゐてあせ									
蚖蛇 クワンシヤ をろちくちなは									
蚖蛇 ケンチヤ カラスクチナハ									
懸 かケ									
掛 ー ケ									
懸胸 むねニかかり むねニかケ									
係胸 ー ニ ー ケ									
懸壁 かべニかかり									
係壁 ー ニ ー リ									
五孫(ヨ) ゴソンノ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五殊									
孤庇 コヒニ ひのきし									
孫庇 まこひさしニ ー ひさしニ									
虎魄 クハクヲ コハクヲ									
虎珀 コハクヲ									
琥珀 コハクヲ									
故墳 コフン ノ									
技墳 キフン ノ									
故闐 コキニハ としきみ									
	632	641	641	651	651	652	652	653	653

	東	彭	曼	松	抄	註	叡	寛	群
玄疇(ケン) クヱンニ ケンナウニ									
雲疇 ー ケウニハ なゐてあせ									
蚖蛇 クワンシヤ をろちくちなは									
蚖蛇 ケンチヤ カラスクチナハ									
懸 かケ									
掛 ー ケ									
懸胸 むねニかかり むねニかケ									
係胸 ー ニ ー ケ									
懸壁 かべニかかり									
係壁 ー ニ ー リ									
五孫(ヨ) ゴソンノ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五殊									
孤庇 コヒニ ひのきし									
孫庇 まこひさしニ ー ひさしニ									
虎魄 クハクヲ コハクヲ									
虎珀 コハクヲ									
琥珀 コハクヲ									
故墳 コフン ノ									
技墳 キフン ノ									
故闐 コキニハ としきみ									
	653	662	662	675	675	682	682	682	684

	東	彭	曼	松	抄	註	叡	寛	群
玄疇(ケン) クヱンニ ケンナウニ									
雲疇 ー ケウニハ なゐてあせ									
蚖蛇 クワンシヤ をろちくちなは									
蚖蛇 ケンチヤ カラスクチナハ									
懸 かケ									
掛 ー ケ									
懸胸 むねニかかり むねニかケ									
係胸 ー ニ ー ケ									
懸壁 かべニかかり									
係壁 ー ニ ー リ									
五孫(ヨ) ゴソンノ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五殊									
孤庇 コヒニ ひのきし									
孫庇 まこひさしニ ー ひさしニ									
虎魄 クハクヲ コハクヲ									
虎珀 コハクヲ									
琥珀 コハクヲ									
故墳 コフン ノ									
技墳 キフン ノ									
故闐 コキニハ としきみ									
	684	684	685						

見出し	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群	
故閭 ココンニハ としきみ		○							①	685
故園 コエンニ六 コエン			○	○			○	○	○	685
故苑 コエン					○	○				685
光〔コウ〕ひかりあり	○	○	○	○		○	○	○	○	713
晃 ひかりあり					○	○				713
光中 ひかりノなかニ八	○	○	○	○		○	○	○	○	717
晃中 ーノーニ					○					717
恒在 つねニあり	○	○	○	○	○	○	○		○	735
恒在 ーニーリ								○		735
紅櫻 コウアウ エイ ヱウ	○	○		○	○	○	○	○	○	737
紅梅			○							737
紅漸 コウレニす	○	○	○	○	○	○				738
江漸 ーノすニ							○	○	○	738
荒閭 クワウタツニ	荒荒		荒荒						①	749
荒閭 クワウケイニ					○	○	荒荒		○	749
鉤	｜	｜	｜	｜	鉤・	｜	｜	｜	｜	762
構 かまへ	搆	搆	構	搆					○	765
接 ましへ					○	○				765
按 ーへ							按	按		765
粿糧 コウリヤウ かて コウラウ(粮)ノ 承木粿糧	粮・		粿・	粮・		○	粮・		○	768
資糧		①								768
䱇鮒 カウフノ	䱇									770
魫鮒 カウフノ 〃な		魫	魫	魫	魫				○	770
(又注)鮒 ーーノ			○							770
鰤鮒 シフフ カウフノ							鰤	鮒	①	770
糠粃 カウヒノ ぬかしひな 承木糠粃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	771
糠粮		①								771

見出し	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群	
爌煥 クワウクワン	○	○	○	○						775
熫煥 タウクワン					○	○	○	○	○	775
朦沸 あつものハわかシ	朦・朦		朦	朦	朦				①	776
朦沸 あつもの六わかシ				△			○	○	○	776
觳〔コク〕コクト かひこト	觳	觳	觳	觳			觳・		○	783
卯 ラント					卯	卵				783
觳翟 コクテキハ かひこノきじ ランテキ ひな	○	○	○			○	○	○	○	784
觳雉 ランチハ				○						784
卵翟 ランテキ					○					784
骨竦〔コツ〕ほねそばたチ そばたテ		○			○	竦	○	○	○	788
骨練 ーそはたち 承木骨竦	○			?						788
骨踈 はねあかり			○							788
骨諫 ーそはたチ				○						788
烟喜〔コン〕コンキノ コム	○	○			○	○	○	○	○	792
烟嘉 コンカノ			○	○						792
琨櫳 たまノたるき	○	○	○	椖	○	○			○	796
琨櫳 たまノたるき							○	○		796
哉	○	○	｜	○	○	○	○	○	○	811
彩麗(サイ)いろうるはシ	麗	麗	麗	麗						818
色麗 ーうるはシ					叢	麗	麗	麗		818
歳年 セイネン	○	○	○	○					①	826
歳月					○	○	○	○	○	826
碎 くだケテ	△	○	○	○					○	831
破 やぶレテ					○	○	○	○		831
濟渡 サイドノ	○	○		○						834
濟度 サイドノ			○		○	○	○	○	○	834
三自王(サン)サムクワウ		①	○	○	○	○	○	○	○	851

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
二王 ークウ	○	○							851
山壘 サンルイヲ		壘						○	861
山壘 ールイヲ			壘		壘		壘		861
山壘 ーールイヲ			壘				壘	○	861
浪 くらヒフ			飡						868
食 ショクトトレ			飡		○		○		868
浪飲 サムオムザンイヲンン					○		○		869
喰飲 シキヲン			○				○		869
食飲							○		869
慘例 サムレツシ サムレチス		○							880
慘例 シンいたムス テンレツヲ いたム		○					○		880
慘例 シンレツタリ				○			○		880
慘例 ーーシ								○	880
之音(シン) ーミ名ハ くこえ をと		○	○	○	○		○		905
音		○	○	○	○		○		905
之下 ノもとニ		○	○	○	○		○		906
之中 ーもとニ		○	○	○		○			906
之間 ーあいに 承水 間 あひだニ	○		○	○	○		○		912
(脱字) 間		○	○	○	○		○		912
之議 ーはかりことノミ たはかりノミ		○	○	○	○		○		915
之儀 ーよそそひノミ		○		○	○		○		915
之境 ーさかひニ ーさかいニ		○	○	○	○		○		917
境		○		○	○		○		917
之妻 ノセイモ めモ		○							922
之后 ノきさきモ ーーダモ			○		○		○		922
之恤 ーあぎとニ		○	○		○		○		923
恤 あぎとニ		○			○		○	○	923

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
之女 ーむすめナリ		○							938
之娘 ーむすめナリ		○	○		○		○	○	938
之床端		○	○		○			○	940
之翠蛇			○					○	950
之青袖			○					○	952
之素袍			○					○	958
之丹橘			○						960
之粧 ーがざりニ サント		○	○					○	943
之人 ーひとゾ		○	○					○	943
(脱字) 人 ーゾ		○	○					○	948
之中 ノうちニ		○	○					○	948
下 ーニ		○	○					○	962
之鯛 ーたひヲ		○	○					○	962
(脱字) 鯛 たひヲ		○	○					○	963
之備 ーそなへニ		○	○					○	963
(脱字) 備 そなへト		○	○					○	973
任子 シシ		○	○					○	973
役任 ーキ		○	○					○	999
此憍 こおごりヲ ーをごりヲ		○	○					○	999
此驕 ーノをごりヲ		○	○					○	1005
旨披 むねヲひらカム ヲひらカンヲ		○	○					○	1005
肯披 ーヲーカン		○	○					○	1007
意旨 イシヲ								○	1007
而備 ーそなフ そなへキ そなへウ そなフ		○	○		○			○	1007
備		○	○		○			○	1031
至今 いまニいたテ		—	—		—			—	1031
								—	1052

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
詩賦 シハフセリ ーヲフセント ーヲースト ーハース シフス			○				○	○	○
發心資 たすけヲ シヲ たすけヲ			○	資	○		○	○	○
發心飡 たすけヲ かてヲ			○	飡			○	○	○
慈哀 ジアイシテ			哀哀				○	○	○
慈悲 ーヒ			哀哀		○	○	○	○	○
慈悲			—		○	○	—	—	—
慈父 ジフヲ			○				○	○	○
慈人 ジーヲ			○		○		○	○	○
爾云 しかいフ いふコトしかナリ		介	○			お尓	尓尓 ④	○	○
爾云 しかいフ いふコトしかナリ			○				○	○	○
鰡楚 なまし ノすはやり なまし ノをさし なまし ノそはい なまし ノすはやり なまし ノすはいう			○				○	○	○
鰡楚 なまし ノすはやり なまし ノをさし なまし ノそはい なまし ノすはやり なまし ノすはいう			○		○		○	○	○
濕 紅藍 ヒたシテ うるをシテ			○				○	○	○
混 紅藍 ひたク			○		○		○	○	○
愛樂者			○				○	○	○
手把 テニハトテ			○				○	○	○
手取 テニハーテ テニーしハ			○			○	○	○	○
土容 シュカクハ			○				○	○	○
土容 ーーハ			○				○	○	○
珠壺 シュコニ ーコニ			○				○	○	○
珠壺 ーコニ			○				○	○	○
塵膸 かこノあぶら		塵 ④							
麝膸									
塵膸 かのこノあぶら				麝 ○					
麝膸 くしかノあぶら				○					
鹿膸 をしかノあぶら しかノあぶら						○			
鹿膸 をしかノあぶら しかノあぶら						○			

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
麝膸								④	④
麝膸								④	④
塵膸 をしかノあぶら									
麝膸 をしかノあぶら すぬ		麝							
塵麝 シュビヲ									
塵麝 ズヒヲ									
麝麝 ーーヲ									
麝麝 ロクビ									
麝麝 ロクヒ をしかをほしガ									
樹風 うゑきハぜハ うへきノかせ									
風唱 ーハー									
十力 ジフリキニヲ									
十方 ーーニ									
十月 ーーヲ									
充滿 みチみテリ		充	充	充	充	充			
花滿 ーみテリ									
舟筏 シウハツニ (イカダ)									
船筏 センハツニ フネイカダ									
秋雪									
秋雲 あきノくもノ									
從懷 いだカンよりハ		從	從	從	從	從			
徒懷									
愁氣 うれへノいき シウキ									
愁鬱 ーウツ									
繡服 シウフク ぬいもの きもの									
繡腹 シウフク									

	東	彰	夏	松	抄	註	徹	寛	群
春嵐(シン)ハルノアラシ 春風 ーノーニ	○		○	○	○	○	○	○	1236
鶏朕 ウヅラノタマノ 鶉臓 ウヅラノタマノアツモノ 鶉脸 ウヅラノシルモノ	○		○	○	○	○	○	○	1262
如来(シヨ)ニヨライ					○	○			1274
處閒 トゴシニモル トゴシニモリ 處閒 トゴキミニモル 處閒 ねヤニースねヤニをル 處圍 トキシニモリ		霰	処	處		處		處	1282
床端(ショウ)ゆかはしニ 牀端 ゆかのはしニ	○				○				1298
床鋪 ゆかニハしキ 牀鋪 ゆかニハしキ	○		○	○	○		○	○	1299
招晁 まねキテ 招花 くくツテ くくリテ		招					○	○	1303
常低					○				1316
焦蠟 いレルこと こがれこ 焦鼠 いうしと いしルこと	○		○	○			○	○	1327
細袖 シヤウシウノ はなにノそて 湘袖 はなにリテハ ノーてハ	○		○	○			○	○	1343
細履 ぬひものノくつ ぬいものはうもの 細帛 はなだノくつ		沙細	細	細捆			細		1344
燒身 ーヨヤク	○						○	○	1349
燒丹 にヨヤク タンヨヤク イチノ	○		○	○	○		○	○	1349
燒蛸	○		○	○	○		○	○	1348
償 珪翼 そなへ(ニ) つくのヒ あやつり	償		○	○			○	○	1350

	東	彰	夏	松	抄	註	徹	寛	群
備 珪翼 そなへ									1350
泣露蟲 かさなれ 泣露蟲 かさなレリ かさなル	○		○	○	○	○	○	○	1361
燈光 ーノーハ 燭光(ショク)ともしびひかりハ	○		○	○	○	○	○	○	1377
人界(シン) ジンカイニ 人間界 ーーーニ	○		○	○		○	○	○	1381
人間 ーーニ ーケンヲ					○	○	○	○	1381
心府 シムフ シンフ 心腑 ーーニ	○		○	○	○	○	○	○	1388
身後 シンコウノ シンゴノ 死後 ーーノ	○		○	○	○	○	○	○	1378
身復 ーーノ 身體 シンテイノ すがた					○	○	○	○	1378
身躰 ータイ 承水身躰 すがたノ 身体 ーノ すがた			○	○	○	○	○	○	1379
秦中吟 シンチウノギム ノ 秦仲吟 シンーーノ	○		○	○			○	○	1413
神神 シンシンタリ	○						○	○	1414
祁祁 キキ名 さがんナルカナ			○	○			○	○	1414
申申 シンシンタリ					○	○	○	○	1414
脣上 くちびるノうへニ 扇上 ーノーニ		月	○	○			○	○	1422
唇上 ーノーニ	○				○	○	○	○	1422
盡獻 ことごとクケンジズ 悉獻 ークーシ	○						○	○	1428
遍獻 あまねクたてまつり ークーシ		尽					○	○	1428

	東	彰	夏	松	抄	註	叡	寛	辯
衰媒(ヒ)おとろへ(エ)すがた ータルすがた をとろへタルすがた をとろへタルすがた ークルなかだち をとろへタルすがた	○		○	○					
衰娵安 をとろへタルすがた	○		○	○					
翠茈 スイシン(ありあをキくぬ あはきくぬい あをキくぬい	翠・								
翠花 あをきくはひ あをきくぬい あをキクウ あをキーー									
翠鱒 スイソン ノ ます	○		○	○					
翠鱒 ーーノ ますノ		○		○					
翠瀾 スイラン ニ ーラム ニ	○		○	○					
翠澗 あをキなみ スイカン ニ		○		○					
翠			翠						
翠			翠						
翠			翠 翠						
翠			翠						
誰村 たゞがむらヨリ	○		○	○					
何村 ーレクーニカ クノーニカ いつクノむらニカ			○	○					
瑣珞 スイラクヲ	△								
瑣璐 スイロヲ ツイロヲ		○							
琢珞 タクーニ									
琢璐 ーーニ									
珠璐 ーロニ シユロヲ			○	○					
積積(スイ)キキ クリ(スキスキ)	積		積・	積積積積・					
稶稶 キータリ	○								
是以(セ)ミニヲもツテ	○			○	○				
依之 ーニよツテ	○			○	○				
青溪(セ)セイケイニハ			○	○	○				
青漢 ーケイニハ	漢		○	○	○				
清醋 セイシヨ(ニ) すメルさけ					○				
清醋 セイシヨハ すめルさけ(ニ)	○				○				

	東	彰	夏	松	抄	註	叡	寛	辯
衰							衰	○	
衰媒 ータルすかた をとろへタルすかた をとろへタルすかた ークルなかだち をとろへタルすかた	○		○	○					
衰娵安 をとろへタルすかた	○		○	○					
翠茈 スイシン(ありあをキくぬ あはきくぬい あをきくぬい	翠・								
翠花 あをきくはひ あをきくぬい あをキクウ あをキーー									
翠鱒 スイソン ノ ます	○		○	○					
翠鱒 ーーノ ますノ		○		○					
翠瀾 スイラン ニ ーラム ニ	○		○	○					
翠澗 あをキなみ スイカン ニ		○		○					
翠			翠						
翠			翠						
翠			翠 翠						
翠			翠						
誰村 たゞがむらヨリ	○		○	○					
何村 ーレクーニカ クノーニカ いつクノむらニカ			○	○					
瑣珞 スイラクヲ	△								
瑣璐 スイロヲ ツイロヲ		○							
琢珞 タクーニ									
琢璐 ーーニ									
珠璐 ーロニ シユロヲ			○	○					
積積(スイ)キキ クリ(スキスキ)	積		積・	積積積積・					
稶稶 キータリ	○								
是以(セ)ミニヲもツテ	○			○	○				
依之 ーニよツテ	○			○	○				
青溪(セ)セイケイニハ			○	○	○				
青漢 ーケイニハ	漢		○	○	○				
清醋 セイシヨ(ニ) すメルさけ					○				
清醋 セイシヨハ すめルさけ(ニ)	○				○				

	東	彰	夏	松	抄	註	叡	寛	辯
清酯 ーシ ーショウ								○	
酯酒 シーハ			○					○	
清酬 ーショウ								○	
腥膩 なまぐさキ ヒイシノ ぬかル	腥○								
膩腥 ジセイノ あさレタル		○	○						
聲斜 こゑなめナリ ーゑたはちナリ	聲・		○						
聲斜 ーゑたはちナリ			○						
石作八田九(セキ) ーつクリーー	—	○	—						
昔聞 むかしハきキキ ーシーク むかしハきケリ	○		○						
昔 ーノ		○	○						
折 千葉 をり	○		○						
折 千葉 ひらケ		○	○						
染面 ーヲー	○		○						
染血(セン)ちヨウそムル(三) ちニそメル	○	○	○						
風扇 あふギ									
四徳 ーーヲ	○		○						
然染而 しかルニ ーーテモ ーテ しかレトモ	○		○						
然而染而 しかレドモ	○		○						
然而 ーーレトモ	○		○						
然而 ー カドモ	○		○						
煎蛸 いレルはまぐり いうはまぐり ゆではまぐり センエルはまぐり にタルはまぐり センセルはまぐり いレルこ	煎・		煎煎・						
焦蛸									
線綵 センサイヲ	○								
線綵 センスイヲ		○							
線綵 ースイヲ			○						
膳於鱸 そなヘタリ そなフ ととのヘタリ	○		○	○	○				

	東	彰	夏	松	抄	註	叡	寛	辯
清酯 ーシ ーショウ							○	○	○
酯酒 シーハ			○						
清酬 ーショウ									
腥膩 なまぐさキ ヒイシノ ぬかル	腥○								
膩腥 ジセイノ あさレタル		○	○						
聲斜 こゑなめナリ ーゑたはちナリ	聲・		○						
聲斜 ーゑたはちナリ			○						
石作八田九(セキ) ーつクリーー	—	○	—						
昔聞 むかしハきキキ ーシーク むかしハきケリ	○		○						
昔 ーノ		○	○						
折 千葉 をり	○		○						
折 千葉 ひらケ		○	○						
染面 ーヲー	○		○						
染血(セン)ちヨウそムル(三) ちニそメル	○	○	○						
風扇 あふギ									
四徳 ーーヲ	○		○						
然染而 しかルニ ーーテモ ーテ しかレトモ	○		○						
然而染而 しかレドモ	○		○						
然而 ーーレトモ	○		○						
然而 ー カドモ	○		○						
煎蛸 いレルはまぐり いうはまぐり ゆではまぐり センエルはまぐり にタルはまぐり センセルはまぐり いレルこ	煎・		煎煎・						
焦蛸									
線綵 センサイヲ	○								
線綵 センスイヲ		○							
線綵 ースイヲ			○						
膳於鱸 そなヘタリ そなフ ととのヘタリ	○		○	○	○				

	東	彰	曼	松	抄	註	徹	覚	稗
饐於 21 ヽ鏤蔓 そなフ									
蟬衫 18 センサムノ したがさね たもと									
蟬袂 ーノこころもかね									
臘者 21 にくよし二ハ にしものニハ にしわかしものニハ にル									
鱵者 しろものニハ にル									
素粳 10 ソカウノ									
索粳 ソカウノ									
相違 9									
曾王 12 ソウワウノ									
楚王									
魯王 ーーカ									
瘦疲 14 シウヒト ヤセタリ									
疲瘦 サウヒトソウ ヒンウトヤセタリ									
箏 14 シャウノこと									
麄 なル									
箸 あやつり									
箟 しらべ									
蒼濱 11 サウヒン・ニ									
蒼溟 サウメイニ									
瘡痏 15 サウヰ きずあす									
瘡瘡 ほたけかさ									
太谷 9 タイコク									
大谷									
泜 9 ちよシ									
清 ーシ									
澄 ちよシ									
胎 9 いル									

	東	彰	曼	松	抄	註	徹	覚	稗
貽 12 のこリ のこル									
瑇瑁 17 タイマイヲ									
瑇瑁 タイマイヲ									
瑇瑁 タイマイヲ ハイキヲ タイマイヲ マイイヲ									
瓊瑁									
鮐背 16 タイハイ さめ									
鮐背 テンハイ									
琢 12 すリ みがキ なめらかナリ									
詠 エイシ									
體相 21 タイサウヲ									
形相 ーーヲ									
斷腸 18 はらわたヲたツ はらはたヲたツ									
斷腹									
地祇 6 チギニ									
地神 ーーニ									
雉膗 きじノつかさ きじノさわたり きじノつちかさ									
雉膢 きじノつかさ									
中道 6									
頂上 11 ちヨウジヤウ									
頭上 ーーノ									
貂裘 12 テウキウノ ふるきくかはころも									
貂裘 ヒウキウノ ヘウキウノ ヒヲうキウ ーノキウノ									
超 12 こエム こへシメン									
起蠖 こへん ーニエキ ーン									
腸 13 はらわた はらはた									

		東彰	曼松	抄註	叡寛群
腹		袋			腹腹
14 趙北	テウホク	○	○	○	○
北		○	○	○	○
22 聽說	トクヲキカム ーース	聽	聽		
講說	コウセツス ーーセン	聽	聽	傳講講・	㋑
10 庭壝(ニイ)	テイサ ニ テイイ ニ	違・	○		○
庭塒	テイシ ニ	○	遲	○	○
12 提提	シシ タリ テイテイ タリ	○	○		○
提提	シータリ さいかい	○	○	提	○
5 適留(字キ)	たまたまとどまレル たまたまとどまル	○	○	○	○
適	たまたま	○	○	○	○
5 田黑(ニテ)	たノくろキ ーニハーキ	○	○	○	○
白黑		○	○	○	○
3 鈿樽	テンソン ニ		○	○	○
鈿樽	テンソン ニ		○	○	○
鈿蹲	テムソム ニ テンソン ニ	○	○	○	○
鈿蹲	テンソン ニ		○	○	○
14 瑱背	たまノくちほし ニ	紫	○	○	○
玉背	ーノくちほしヲ	紫○	○	○	○
20 鱣醋	むなぎノすし テンノすし	脂			
鱸胎	うなぎノすし		○	○	○
鱣脂	うなぎノすし	○	○	○	○
鱣鮨	うなぎノすし	○	○	○	○
從	ーらニ	徒・	・	從	○
10 徒(下)いたづらニ		徒	○	○	○
東王父(下ウ)	トウウフノ	○	○	○	○
蹤跣(上)	坂木徒跣(ケセン) トセント つるはきニシテ はたしニシテ シウセント はたしニシテ	○	○	○	○
徒跣(上)		○	○	○	○

		東彰	曼松	抄註	叡寛群
東王父	・・ウカ				○
9 洞房	トウバウノ	○	○	○	○
洞坊		○	○	○	○巧㋑
17 答予	われニこたヘテ	○	○	○	○
答	ーヘテ	○	○	○	○
9 銅鈸	トウハツ		鈸		鈸・・・
銅拔		拔・		鈸	
銅鈸				鈸	
16 蕩蕩	タラタウ タリ	蘊	○	蘊・	蘊
蘊蘊	ウンー タリ タウー タリ	○	○		
16 翻翻	タウケウト ササツテ サケウト	翻翻	○		
翻翻	トはうテ イケウトノ	㋑	○		
翻翻	タウケウトノ ササツテ				
翻翻	タウケウト タウケウト			○	
2 二旁(三)	ふたつかたはらニ	○			○
相旁	ーノかたはらニ	○			
相傍	ーノかたはらニ		○	○	○
二尊	ニソン	○	○	○	○
二世		㋑	○	○	○
4 旬(下おい)	にはひニ	○			○
之旬	ーにはひニ	○	○	○	○
廿	ニシウイチ ニシテ	○	○	○	○
二十一	ーーニシテ	○	○	○	○
廿二	ニシテサム ニシテ	○			○
二十二	ーーニテ		○	○	○
廿二			○	○	○
4 任運(三)	ニンウン ニ ノ	○	○	○	○

		東彰	曼松	抄註	叡寛群
腹		東彰	曼松	抄註	叡寛群
14 趙北	テウホク	○	○	○	○
北		○	○	○	○
22 聽說	トクヲキカム ーース	聽	聽		
講說	コウセツス ーーセン	聽	聽	傳講講・	㋑
10 庭壝(ニイ)	テイサ ニ テイイ ニ	違・	○		○
庭塒	テイシ ニ	○	遲	○	○
12 提提	シシ タリ テイテイ タリ	○	○		○
提提	シータリ さいかい	○	○	提	○
5 適留(字キ)	たまたまとどまレル たまたまとどまル	○	○	○	○
適	たまたま	○	○	○	○
5 田黑(ニテ)	たノくろキ ーニハーキ	○	○	○	○
白黑		○	○	○	○
3 鈿樽	テンソン ニ		○	○	○
鈿樽	テンソン ニ		○	○	○
鈿蹲	テムソム ニ テンソン ニ	○	○	○	○
鈿蹲	テンソン ニ		○	○	○
14 瑱背	たまノくちほし ニ	紫	○	○	○
玉背	ーノくちほしヲ	紫○	○	○	○
20 鱣醋	むなぎノすし テンノすし	脂			
鱸胎	うなぎノすし		○	○	○
鱣脂	うなぎノすし	○	○	○	○
鱣鮨	うなぎノすし	○	○	○	○
從	ーらニ	徒・	・	從	○
10 徒(下)いたづらニ		徒	○	○	○
東王父(下ウ)	トウウフノ	○	○	○	○
蹤跣(上)	坂木徒跣(ケセン) トセント つるはきニシテ はたしニシテ シウセント はたしニシテ	○	○	○	○
徒跣(上)		○	○	○	○

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
1998 住運 ニウウンニ								○	
1999 仕杖 つゑヲまかせ つヱヲシンシ つゑニまかせ つゑヲーセ		○	○	○	○	○	○	○	
1999 仕杖		○	○	○	○	○	○	○	
2018 破笹(八) やぶレたあぶ かご		○	○	○	○	○	○	○	
2018 破笹 ータレかたにヲ		○	○	○	○	○	○	○	
2056 斑雉(八) ハンチニ キヂ		斑		・		斑	・		
2056 斑雉 ハンチニ		斑		・		斑	・		
2084 花座毗(ヒ) ならべり		○							
2084 花座毗 ならべタリ			○		○				
2084 花座批 はひこしり				○					
2084 花座比 ーならブ ーベタリ					○		○	○	
2095 疲瘦 ヒシヤ ツかれやセタリ ヒシヤ ツセタリ						○	○	○	
2095 疲瘦 ーヒシヤ ツセタリ		○		○		○	○	○	
2102 鴛鴦被 ふすまニ						○	○	○	
2102 鴛鴦之被 ーヒすまニ				○		○	○	○	
2102 鴛鴦衾 ふすまニ						○	○	○	
2141 百花(ヒヤク) ハククワヲ		○		○		○	○	○	
2141 百華 ーーヲ		○		○		○	○	○	
2147 飄颯(ヒヨウ) ヘウサツス		○		○		○	○	○	
2147 飄颯 ヘウヨウ		○		○		○	㊀	○	
2151 千恵敏(ビン) ビンナリ とク キ		○		○		○	○	○	
2151 千恵繁 ざとカリキ		○		○		○	○	○	
2163 不滑(ツ) なめらカナラズ	○					○	○	○	
2163 不滑 なめらカナラズ なだらカナラズ		○		○		○	○	○	
2171 不嘗 なメズ		○		○			○	○	
2171 不食 ーメー くらハー		○		○	○		○	○	
2173 不屑 ものがずトセズ ものがずトモセズ				○	○		○	○	

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
2173 不肖 ものがずー ものがずトモー	○	○					○	○	
1974 不屑 ものがずニセズ ものがずニセー		○		○			○	○	
1974 不肖 ものがずー ものがずニ	○			○			○	○	
2176 不相違	○	○		○	○		○	○	
2179 不飡 くらハズ くハー		○		○	○		○	○	
2179 不喰 ーハー		○	○		○		○	○	
2180 不知 しラズ		○		○	○		○	○	
2180 不(缺字) ヒ	○			○	○		○	○	
2186 不被 きズ		○		○			○	○	
2186 不着 きー		○		○	○		○	○	
2190 夫以 そレおもミレバ		○		○	○		○	○	
2190 夫此		○		○	○		○	○	
2191 夫猗 もとトはろビヌ		○		○			○	○	
2191 夫赤殯 ーハータシス				○			○	○	
2191 夫婆 ーほろヒヌ をっとハほろとり					○		○	○	
2191 父婆 ーハほろヒタリ					○		○	○	
2229 虜膏 ほだへあふらつキテ ほだへあふらイテ		○		○			○	○	
2229 虜脂 ほだへあふらつキテ ほだへあふつキテ		○		○			○	○	
2229 銀虜 ーねノはだへあふら つイテハ							○	○	
2235 風唱(ウ) がぜハとなヘテ		○					○	○	
2235 樹風 うゑきノがぜハ うゑきノーハ		○		○			○	○	
2235 風		○		○			○	○	
2236 風聲 フうセイハ ーノーハ		○		○			○	○	
2236 風音 ーノをと	○			○			○	○	
2237 梳風 ーニサウル			○				○	○	
2237 風梳 がぜニけづル ーニくしけづル ほのかニかみけづル		○		○			○	○	

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
風容 フウヨウヲ									
風客 ーーヲ	○	○							
鳳容 ホウヨウヲ	○		○						
腹膽ヲ之 フクタム フクタン		○							
腸膽 チヤウキモ		○							
佛乘(ラツ)ブツジヨウヲ		○							
讃佛乘 サンフツーノ		○							
佛德 ブツトクハ		△							
佛位 ーーハ		○							
佛寶 ブツホウノ		○							
佛法 ーーノ		○							
秉(ヘイ)筆 とリテ									
曳 玉筆 とツテ		寂							
康 玉筆 とツテ		兼							
秉筆 ふでヲとリテ ーヲとツテ		○							
曳筆		○							
康筆 ーヲとツテ									
閉神 たましひヲとぢム ーヲとツル		○							
閉神 にーヲとチム たましいヲとツル		○							
暮取 くれニハとリテ		○							
夕取 ーニハーテ		○							
法服(ホウ)ホフブクヲ	○								
法衣 ホウイヲ		○							
髣髴 ハウヒタリ ほのヤカリ ハウホツタリ ノカナリ		切							
髮髴 ハウヒツ ノカナリ	○								
寶網 ホウマウ	○	○							
寶幢(ホウ)ーウトウ									

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
万慮(ラン)バンリヨ									
万盧	○	○	○						
無衣(ム)なク									
无衣 ーク	○	○							
無一婢なシ		○							
无一婢 ーシ		○							
無會翼なク		○							
无會翼		○							
無兄弟なキカ ーキ		○							
无兄弟 ーキ	○	○							
無子孫なキカ ーキ		○							
无 ーキ	○	○							
無食なシ		○							
无食 ーシ	○	○							
無前後なク		○							
无前後 ーク	○	○							
無背跋なカラム ーシ		○							
无背跋 ーシ		○							
無邊際なシク		○							
无邊際 ーシク	○								
瑪瑙(ス)メナウヲ メノウヲ		○							
碼碯 ーーヲ		○							
面 メン おもて ニハ		○							
而面 ーーニハ	○	○							
綿綿 メンメンタリ		○							
緬緬 ーータリ		○							
捫涙(モン)なみだヲのごフテ ーヲのこウテ ーヲのこヒテ	○	○							

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
2377	○								
2377	○								
2364									
2364		○							
2347		○							
2347		○							
2331		○							
2331		○							
2295		○							
2295		○							
2292		○							
2292		○							
2292		○							
2291		○							
2291		○							
2268		○							
2268		○							
2267		○							
2267		○							
2264		○							
2264		○							
2255		○							
2255		○							
2239		○							
2239		○							
2239		○							

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
2402	○	○	○						
2402	○	○	○						
2426		○							
2426		○							
2427		○							
2427		○							
2428		○							
2428		○							
2429		○							
2429		○							
2430		○							
2430		○							
2431		○							
2431		○							
2432		○							
2432		○							
2433		○							
2433		○							
2434		○							
2434		○							
2462		○							
2462		○							
2469		○							
2469		○							
2473		○							
2473		○							
2481		○							

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
捫泪 ーたヲのこツテ									2481
也[3]	○	○	○	○			○	○	2482
耶孃[7] ヤヤヤウ ヤシヤウ	○	○	○					○	2485
娘孃 ヤーモ				○				○	2485
爺孃 ヤジヤウ					○			○	2485
娘孃 ヤシヤウ ヤヤシヤウ ちちはは					○			○	2485
耶孃 ヤヂヤウニヲ	○	○						○	2486
爺孃 ヤジヤウニ			○		○				2486
娘孃 ヤーニ				○				○	2486
娘孃 ヤジヤウニ					○			○	2486
耶孃 ヤヂヤウノ ちちノ恩	○	○						○	2487
爺恩 ヤオン			○		○			○	2487
孃恩 ははノー			④					○	2487
報恩 ーヲーレ								○	2487
有愁[5] よろこびあり もとたノーリ	○	○	○					○	2488
有怡 よろこひーリ もとたノーリ				○	○			○	2488
有漏 ーナリ ウロウ	○	○	○		漏 ○			○	2519
與燕[3] つばくらめトニ ラムトニ									2544
將燕 はたつめトニ つはめトニ ヨントニ	与	將 ・	○		將 ○			・	2544
餘年 あまりノとし ーノーハ	○	○		○	○			○	2549
餘命				○	○			○	2549
容貌[3] ヨウバウノ かほばせ ヨウボウヲ 永永容貌	○	○	○		○			○	2561
容貝 ヨウかほばせ ヨウボウヲ ーーノ				○				○	2561
容貌 ヨウバウヲ			○					○	2562
貌貝 メウーヲ ハウーヲ	○			○				○	2562
容貝 ーハウヲ	○							○	2562

	東	彰	曼	松	抄	註	叡	寛	群
容狼 ヨウホウヲ									2562
瑤琴 エウキム ヨウキン ヨウコン		瑤 ・						○	2574
瑤瓊								○	2574
鏞[19] ヨウ しらフ		鏞 ・						○	2574
鏞 しらへ								○	2583
鋩 しらブ								○	2583
倦 スイ								○	2583
鍾 うたヲ うたフ								○	2583
欲説[3] ヨクとガントシテ いふヲラク ーントトース	○	○						○	2588
欲諾 ダクセントース			○					○	2588
羅韈[9] (ラ)すすめしたうつ ーノしたうす		韈 韈						○	2599
羅襪 あやしたふす				襪				○	2599
來意[5] ライイノ キタツテイ(旨)ヲ	○	○						○	2603
來覺 ーーノ			○					○	2603
落鬢[13] ラクビンヲ	○							○	2613
落髮 ラクハツヲ		○						○	2613
捨離 シャリシ								○	2648
離捨[17] リシヤシテ ーーレ	○	○						○	2648
琉璃[10] (リウ)ルリヲ		琉						○	2666
瑠璃 ルリノ ルリヲ		瑠						○	2666
梁塵[11] (リヤウ)リヤウヂン		梁 ・						○	2675
梁鹿			○					○	2675
淚[11] (ルイ)なみだ ーに		淚 ・						○	2701
泪 ーに	○							○	2701
靈澤[26] (レイ)レイタクノ		靈						○	2717
虛澤 キヨー	虛							○	2717
憐我[15]	○							○	2723

	東彰	曼松	抄註	觀寛群
憐慈 レンシス ーレンシ ーかなしム		○	○	○
憐哀 レンレンシス あはれミあはれム	○		○	○
15 噂上詠 ロシヤウノエイ ロシヤウーノ ロウーノ	噂		噂噂	噂噂○
曾上詠 ロウーノ	曾曾・			○
20 露花 ロクワヲ ーヨリモ	○	○	○	○
露華	○		○	○
露咲 つゆニあミテ ニえみテ		○	○	○
咲露 あらはローテ ーニミ		○	○	○
25 老嫗 ラウウ ータル をうな	老	○	○	○
老姿 ータル をうな ー名やもめ	○			○
老女			犯	○
老婆 ーソ	㊀			○
老衰 ラウスイノ	○			○
老襄 ースイ	○			○
30 鹿鳴 ろくせうなく しかなく ーノーク				○
鹿啼 しかなく	庶	庶	庶	庶
	庶	庶	庶	庶
		○	庶	○
		○	庶	○
				㊀
				○
				○
				2165
				2165
				2151
				2151
				2150
				2150
				2150
				2150
				2144
				2144
				2142
				2142
				2141
				2141
				2124
				2124

146	141	138	137	134	129	128	127	120	105	104	99	86	77	76	71	69	66	59	45	43	42	14	10	6	5	2	
A△	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	東
A	B㊀	A	A	A	A	B	A	B	B	A		A	A	B	A	A	B㊀	B	A	A	A	A	A	A	A	A	彰
A	B	C	A	A	A	B	A	A		A		A	A	B	A	A	A	A	A	A	C	C	C	A	A	A	曼
D	B	C	D	D	D	B		B		A			A	B	A	A	A	A	A	A	A	D	D	A	D	D	松
A	A	C		A	A	B	A	A		E	E	E	A	B	A	EA	E	A	E	E	A	A	E	E	A	D	抄
A	A	C		A	A	B	A	A		E	E	E	A	B	A	E	E	A	E	E	A	A	E	E	A	D	註
A	A	C		D	A	A	G	A		A	E	E	G	B	G	A	G	A	E	E	A	A	C	A	A	A	叡
A	A	C		D	A	A	A	A		H	E	E	G	B	G	A	G	A	E	E	A	A	C	H	A	D	寬
A	A㊁	C	A	A	A	A㊁	A	I	B	H	E	E	A	B	G	A	A	A	E	E㊀	A	A	C㊀	A	A	A	群

338	311	304	297	292	276	275	210	269	267	254	252	251	238	233	231	230	229	226	208	207	202	198	193	186	175	169	
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		A	A	東
A㊀	A	B	A	A	B	A	A	A	A	B	A	B	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	B	彰
C	A	C	C	A	A	A	A	A	A	A	C	A	A	A	C	C	C	A	A	A	C	C	A	B	C	A	曼
D	A	B	C	A	B	A	A	A	A	D	C	B	B	A	A	C	A	D	A	A	D	A	A	B	A	A	松
D	A	C	A	A	A		A	A	A	A	C	B	A	A	E	A	A	A	A	A	C	A	A		A	A	抄
D	F	C	A	A	A		A	A	A	A	CA	A	A	A	E	A	A	A	A	A	C	A	A		A	A	註
D	A	C	A	G	A		G	A	A	A	C	B	A	A	A	A	A	A	A	A	D	A	△		A	A	叡
D	A	C	A	G	A		G	H	H	H	C	B	A	H	A	C	A	A	H	H	D	A	H		A	A	寬
D㊃	A	C㊁	A	A㊄	B	A	A	I㊀	A	A	A	B	A	H	A	C	A	A	A	A	D	A	A		A	A	群

551	547	541	535	528	527	511	502	493	491	484	468	467	463	446	439	416	411	410	408	402	379	374	372	351	349'	339	
A	A	A	A		A	A	A	A	A	A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	東
A	A	A	A		A	B	A	B	A	A	A㊁		A	A	B	A	A	A·	A	A	A	A	A	A	B	A©	彰
C	A	C	C	C	A	B	A	B	C	A	A		A	A	A	C	A	A	A	C	A	C	A	C	C	C	曼
D	A	C	A		A	B		B	A	D	A		A	A	A	A	A	A	D	A	A	A	A	C	D	C	松
D	A	A	A		A	B	A	B	A	D	A	E	A	A	A	A	E	A	A	A	E	A	A	C	E	C	抄
D	A	A	A		A	B	A	B	A	D	A	E	A	A	A	A	E	A	A	A	E	A	F	C	E	C	註
D	G	A	A		GA	B	A	B	A	D	A		G	G	A	A	G	A	A	A	A	A	A	C	C	C	叡
A©	A	A	A		A	B	A	B	A	D	A		G	G	A	A	G	H	A	A	A	A	A	C	C	C	寬
A©	A	A	A		A	B	A	B	A	A㊁	A		A	A	A㊁	A	E	A	A	A	A	A	A	C	C	C	群

768	765	762	749	738	737	735	717	713	685	684	682	675	662	653	652	651	641	632	630	623	607	597	576	571	570	569'	
A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	東
A Ⓑ	A		A	A	A	A	A	A	B	B Ⓐ	A	A	A	A	A	A	A	B Ⓐ	A	A	A	A	A	B Ⓐ	A	B	彰
A	A		A	A	C	A	A	A	C	A	A	C	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	C	A	A	B	曼
A	A		A	A	A	A	A	A	C	A	D	C	A	D	D	D	A	A	D	A	D	A	A	A	A	B	松
A	E	E	E	A	A	A	E	E	E	A	E	C	A	A	A	A	E	A	A	A	A	A	A	E	E	E	抄
A	E	E	E	A	A	A	A	E	E	A	D	C	A	A	A	A	E	A	A	A	A	A	A	E	E	E	註
A	G		E	G	A	A	A	A	C	A	D	C	A	A	A	A	A	A	A	G	A	A	C A	E	E	A	叡
A	G		E	G	A	H	A	A	C	A	E	C	H	A	A	A	E	A	A	G	A	H	C	E	E	A	寛
A	A		E Ⓐ	G	A	A	A	A	C	A	D	C	A	A	A	A	E	A Ⓑ	A	A	A	A	A	E	E Ⓐ	B Ⓑ	群

938	923	922	917	915	912	906	905	880	869	868	861	851	834	831	826	818	811	796	792	788	784	783	776	775	771	770	
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A△	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	東
A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A Ⓒ	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A Ⓐ	B	彰
A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	C	C	C	A	A	A		A	C	C	A	A	A	A	A	C	曼
A	A	A	A	D	B	A	A	D	D	A	D	C	A	A	A	A	A	A	C	D	D	A	A△	A	A	B	松
E	A	E	A	A	B	E	A	A	A	E	C	C	C	E	E	E	A	A	A	A	E	E	A	E	A	B	抄
E	A	E	A	A	B	A	A	A	A	E	C	C	C	E	E	E	A	A	A	A	A	E	A	E	A	B	註
E	A	E	A	A	B	A	A	G	G	E	A	C	C	E	E	E	A	G	A	A	A	A	G	E	A	G	叡
E	H	E	H	A	B	A	A	G	A	E	C	C	C	E	E	E	A	G	A	A	A	A	G	E	A	G	寛
A Ⓔ	A	E Ⓐ	A	A	B	E	I	I△G	A	E Ⓐ	C	C	C	A	E Ⓐ	E	A	A	A	A	A	A	G Ⓐ	E	A	B Ⓔ	群

1203	1195	1188	1186	1172	1166	1136	1123	1120	1119	1116	1113	1052	1031	1007	1005	999	973	963	962	948	943	960	958	952	950	940	
A	A	A	A	A	A	A	A	A		A	A Ⓑ		A	A	A	A	A	A	A	A	A					A	東
B Ⓑ	A	A	A	A	A	A	B	A		A	B Ⓐ		A	A	A	A	B	B	A	B	A					A	彰
C	A	A	A		A	A	B	A		A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	C		C	C	A	曼
D	A	A	A	A	D	D	B	A		A	B	D	A	D	A	A	A	A	A	A	A	C	D	C	C		松
E	A	A	E	A	A	A	A	A	E	E	B		A	E	E	A	A	A	A	A	A					A	抄
E	A	A	E	A	A	A	A	F	E	E	B		A	E	E	A	A	A	A	A	A					A	註
G	G	A	E	A	A	A	A	A		A	A		A	E	A	G	A	A	A	A	A					A	叡
G	G	H	E	A	A	A	A	A		A	A		H	E	A	G	A	A	H	A	H					A	寛
D B Ⓑ	G	A	E	A	A	A	B Ⓐ	A		A	A		A	E	E	G Ⓐ	A	A	A Ⓑ	A	A					A	群

1388	1381	1379	1361	1350	1349	1348	1344	1343	1327	1316	1303	1299	1298	1282	1274	1262	1256	1248	1239	1228	1218	1213	1212	1211	1205	1204	
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A		A	A	A	A		A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A Ⓒ	東
A	A	A	A	A	B	A	A	A	A		B Ⓐ	A	A	B Ⓐ		B	A	A	A	A	B	B	A	B Ⓐ	B	B Ⓕ	彰
A	A	A	C	A	A	A	C	A	A		B	A	A	A		B	C	A	C	A	B	B	A	A	B	B	曼
D	D	D	C	A	A	A	A	A	A		B	A	A	A		B	C	A	A	A	B	B	A	A	B	D	松
A	E	A	C	E	A	A	A	A	E	E	B	E	A	E	E	E	C	A	A	A	B	B	A	A	B	E	抄
A	E	A	C	E	A	A	A	A	E	E	B	E	F	E	E	E	C	A	A	A	B	B	A	A	B	F	註
A	E	A	C	A	A	A	A	A	A		A	A	A	G		A	C	A	A	A	B	B	A	A	B Δ	G	敵
A	E	A	C	A	A		A	H A	A		A	A	A	G		A	C	H	A	A	B	B	H	H	B	G	寬
A	E	A	C	A	B Ⓐ	A	A	A	A		A Ⓑ	A	A	A		A Ⓑ	C	A	A	A Ⓘ	B	B	A	B Ⓐ	B	B	群

1596	1591	1589	1588	1582	1577	1543	1538	1536	1525	1518	1511	1502	1480	1470	1464	1461	1455	1453	1451	1445	1428	1422	1414	1413	1399	1398	
A	A	A	A	A	A	A	A		A	A	A	A	A	A	H Δ D	A	A	A	A	A	A	A	A	A		A	東
B	A	A	A	B	A Ⓒ	A	A		A	A	A	B	A	B	B	A	A	A	A	A	A	B	B	A	B	A	彰
C	A	A	B	B	C	A	C	C	A	C	C	B	A	A	B	C	C	C	A	A	A	B	B	A	C	A	曼
A	A	A	B	B	A	A	A		A	A	D	B	A	A	D	C	A	D	A	A	D	D	B	D	C	D	松
B	A	E	B	B	A	E	A		A	A	E	B	E	A	E	C	A	A	E	E	E	A	B	A	E	A	抄
B	A	E	B	B	A	A	A		A	A	A	B	E	A	E	C	A	A	E	E	E	A	B	A	E	A	註
C	A	E	B	B	A	A	A		A	A	G	B	E	A	G	C	A	A	G	G	E	A	G	A	E	A	敵
C	H		B	B	A	A	A		H	A	C	B	E	A	H	C	A	A	H	H	E	A	G	A	C	H	寬
C	A Ⓓ	A	A	B	A	A	A		A	A	C Ⓔ	B	E	A Ⓔ	B	C	A	A	A	H	A Ⓔ	A	G	A	C	A	群

1829	1825	1824	1823	1816	1788	1779	1762	1759	1758	1740	1736	1732	1728	1723	1720′	1718	1675	1672	1670	1666	1658	1636	1613	1607	1603	1598	
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	東
A	B	A	A	A	A	A	A	B	A Ⓒ	A	A	A	A	B	A	B	A	A	B	A	A Ⓑ	A	A	A	A		彰
A	B	A	A	C	A	A Δ	A	B	C	A	A	A	A	B	C	B	C	C	A	A	A	A	A	A	A	A	曼
A	B	D	D	A		A	A	B	C	A	D	A	A	B	C	B	A	A	D	D	D		A	D	A	D	松
A	B	A	D	A	A	E	E	B	C	E	A	E	E	B	E	B	A	A	E	A	A	A	A	A	A	A	抄
A	B	A	D	A	A	E	A	B	C	E	A	E	E	B	E Ⓕ	B	A	A	E	A	A	A	A	A	A	A	註
G	A	A	D	A	A	A	A	A	A	E	A	A	G	B	E	B	A	A	E	A	A	A	A	A	G	A	敵
G	A	A	D	A	A	A	A	A	A	E	A	A	G	B	E	B	A	A	E	A	A	A	H	A	G	A	寬
A	B	A	A Ⓓ	A	A	A	A	B	C	A Ⓔ	A	A	I	B	E	B	A	A	E	A	A Ⓓ	A	A	A	G	A	群

2095	2084	2056	2018	1999	1998	1993	1992	1990	1986	1985	1945	1940	1938	1929	1918	1913	1905	1904	1898	1891	1889	1882	1872	1862	1859	1836	
	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A⑥	A	A	A	A	A	A	A	A	A.	A	A	A	A	A	A	東
B	B	A	A	A	A	A	A	B	B㊀	B	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A.	A	A	A	A	A	A	彰
C	C	A	A	A	A	C	A	B	A	C	A	A	C	A	A	A	C	A	B	C	C	AC	C	A	A	A	曼
C	A	A	D	A	A	D	D	B	A	C	D	A	D	A	A	A	A	D	D	A	A	A	A	A	A	A	松
B	E	E	A	A	A	D	D	B	A	C	D	E	D	E	A	A	A	E	E	A	C	A	A	E	E	E	抄
B	E	E	A	A	A	D	D	B	A	C	A	E	C	E	A	A	A	E	E	A	C	A	A	E	E	E	註
B	E	A	A	A	A	D	D	B	A	C	G	E	C	E	G	A	A	E	B	A	C	A	A	E	E	E	叡
B	E	A	A	H	H	D	D	B	A	C	H	E	C	E	G	H	A	E	B	A	H	A	A	E	E	E	寛
B	E	A	A	A㊁	A	D	D	B	A	C	H⑥	A	C	A	A㊂	A	A	E	B	A	C	A	A	E	E	E㊀	群

2331	2295	2292	2291	2268	2267	2264	2255	2239	2237	2236	2235	2229	2191	2190	2186	2180	2179	2176	2174	2173	2171	2163	2151	2147	2141	2102	
A	A	A	A	A	A.	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	東
A	A	A	A	A	A	A	A③	A	A	B	B	A	A	A	A	B	A	A	B	A	A	B	A	A	A	A	彰
C	C	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	B	C	A	B	A	A	C	C	曼
A	C	D	D	D	D	A	A	D	D	A	B	A	D	A	A	A	D	I	B	C	A	B	A	D	A	A	松
A	C	A	A	A	A	E	A	E	A	A	B	E	E	A	E	A	A	A	B	C	E	A	A	D	A	A	抄
A	C	A	A	A	A	E	A	E	A	A	B	E	A	A	E	A	A	A	B	C	E	A	A	D	A	A	註
A	A	G	G	A	A	E	A	E	A	A	G	E	G	A	E	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	G	叡
A	A	G	A	A	A	E	A	E	A	A	B	H	E	H	E	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	G	寛
A	A	A	A	A	A	E	A	E	A	B㊀	B	E	E	A	E	A	A	A	B	C	A	A	A㊀	D㊀	A	A	群

2562	2561	2549	2544	2519	2518	2487	2486	2485	2482	2481	2473	2469	2462	2434	2433	2432	2431	2430	2429	2428	2427	2426	2402	2377	2364	2347	
A	A.	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	東
B	A	A	B	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	B	A	B	B	B	B	A	A	B	A	A	B	B	彰
C	A	C	B	A	A	C⑥	C	A	A	A	A	B	A	B	A	B	B	B	B	A	A	B	A	A	A	B	曼
A	D	A	B	A	A	D	D	D	A	D	A	B	D	B	A	B	B	B	B	A	A	B	D	A	A	B	松
E	A	A	B	E	E	C	C	E		A	A	B	A	B	A	B	B	B	B	A	A	B	A	E	A	B	抄
E	A	A	B	E	E	C	F	E		A	A	B	A	B	A	B	B	B	B	A	A	B	A	E	A	B	註
C	A	A	B	A	A	D	D	G	A	A	G	B	A	A	G	A	A	A	A	G	G	G	A	A	A	B	叡
C	A	A	B	A	A	D	F	G	A	A	G	B	A	B	A	B	B	B	B	A	A	B	A	A	A	B	寛
C	A	A	B	A	E㊀	D	F	G	A	A	G㊀	B	A	B	A	B	B	B	B	A	A	B	A	A	A	B	群

	2765	2751	2750	2744	2742	2741	2724	2723	2717	2701	2675	2666	2648	2613	2603	2599	2588	2583	2574	
	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	東
	A	A	B◎	A	A	B	B	A	A	A	A	B	A	B	A	A	A	A◎	A	彰
	A	A	C	A	C	B	A	A	C	A	A	B	A	A	C	A	A	C	A	曼
	A	A	D	D	A	B	A		A	D	D	A	A	B	A	D	D	D	D	松
	A	A	D	A	A	A	A	A	A	A	A	B	E	B	A	A	A	E	A	抄
	A	A	D	A	A	A	A	A	A	A	A	B	E	B	A	A	A	E	A	註
	A	A	G	A	A	A	A	A	A	A	A	B	E	B	A	A	A	G	A	獻
	H	H	G	A	A	A	A	A	A	A	A	B	E	B	A	A	A	G	A	寛
	H Ⓐ	A	G◎	A	A	B	A	A	A	A	A	B	E	B	A	A	A	G Ⓔ	A	群